

公共事業新規評価調書 (維持系) 様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	道路課	事業名	道路橋りょう保全事業(橋梁保全)
種別	道路	事業区分	維持管理		

事業目的	橋梁の高齢化が加速的に進むなかで、橋梁長寿命化修繕計画に基づき適切に補修を実施し、橋梁の長寿命化を図るものである。また、併せて耐震補強を実施し、道路網の信頼性の確保を図る。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト削減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	その他	

公共事業新規評価調書

事務所	箇所番号	路線名	橋梁名	事業地	全体額 百万円	完成予定年度	評価視点: 位置付け			評価視点: 必要性・効果										評価視点: 実施環境													判断									
							評価指標: 点検及びプログラム					点数計	評価指標: 損傷の程度						評価指標: 交通量	点数計	評価指標: 公共施設、沿道状況等						評価指標: 道路の役割			評価指標: 緊急輸送路・観光ルート				点数計								
							点数		点数				ひび割れ	剥離・鉄筋露出	腐蝕・塗装劣化	破断・変形	舗装ひび割れ・ポットホール	洗掘・傾斜・沈下・移動			計	現況交通量(日当たり)	点数	沿道状況による評価						点数小計	主要幹線(A)	主要幹線(B)			幹線道路	補助幹線道路	その他国道	点数小計	観光地と主要幹線道路を結ぶ道路	緊急輸送路に位置付けられている道路	点数小計	
							H8道路防災点検要対策箇所	橋梁の25t荷重化プログラム該当橋梁	架設後30年を経過した橋梁	前回塗装後10年を経過した橋梁	緊急点検で対策が必要と判断された箇所(長寿命化修繕計画に位置付けた橋梁を含む)	通行規制区間							洪水対策プログラムの洪水箇所	交通事故多発箇所				ひび割れが密に発生している(ひび割れ幅0.2mm以上、ひび割れ間隔50cm未満)	ひび割れが発生している	鉄筋が露出し、損傷面積が大きい上部工0.1m2以上、下部工1m2以上	剥離のみ、または損傷面積が小さい(上部工0.1m2未満、下部工1m2未満)	腐蝕により、断面欠損がある。(腐蝕により鋼材表面が膨張しているか、腐蝕部が消失して部材断面が減少している)	表面錆や塗装の剥離が見られる(前回は塗り直され、7年以上経過している)					桁や高欄等が腐蝕や衝突により、破断・変形している								舗装ひび割れ幅が大きい(幅5mm以上)ポットホール(局部的な穴)がある
							該当要件に○を記入	(80)	該当要件に○を記入	(20)	(100)	(60)	(30)	(60)	(30)	(60)	(30)	(60)	(30)	(60)	最大点(60)	(40)	(100)	(60)	箇所数を記入	(60)	(60)	(40)	(0)	(80)	最大点(60)	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(10)	(100)	
武雄	1	武雄伊万里線 鎌倉水橋	武雄市 武雄町	15	H23							○	80																										80	AAA	I	
鹿島	2	207号 今里橋	太良町 大浦	18	H23							○	80																									80	AAA	I		
佐賀	1	多久若木線 道祖元橋	多久市 多久町	20	H23							○	80											60			2											80	AAA	I		
神埼	2	264号 靴形橋	神埼市 千代田町	14	H23							○	80					30																				80	AAA	I		
唐津	3	池原古湯線 中原橋	唐津市 七山	27	H23							○	80					30			30																80	AAA	I			
伊万里	4	伊万里有田線 丹後橋	有田町 山谷	26	H23							○	80					30																			80	AAA	I			

公共事業新規評価調書(維持系)

本部・部名	交通政策部	課名	道路課	事業名	道路整備交付金事業(地域自主戦略交付金) 舗装補修
種別	道路	事業区分	維持管理		

事業目的	舗装の経年劣化に伴う路面の凹凸やひび割れの発生により、走行性が悪化し、車両通行に支障を来している箇所に補修を施し、道路交通の安全性及び快適性の確保を図る。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト削減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。路盤材、アスファルト等は、再生材等の安価な材料を使用する。
	その他	

公共事業新規評価調書

事務所名	箇所番号	道路種別	路線名	事業地	事業費		公共単独の別	完成予定年度	事業概要				評価視点:位置付け				評価視点:必要性・効果				評価視点:実施環境												判断																																											
					全体額	要望額			延長	幅員・法長	平積	工法	評価指標:事前調査				評価指標:損傷の程度		評価指標:交通量		評価指標:公共施設、沿道状況等				評価指標:道路の役割				評価指標:緊急輸送路・観光ルート																																															
					百万円	百万円							U・MCI値		①事業計画	②事業(交通)安全事業等の関連により、舗装の補修が必要な箇所	現状	点数	現況交通量(日当たり)	点数	沿道状況による評価		迂回路の状況による評価		主要幹線(A)	主要幹線(B)	幹線道路	補助幹線道路	その他国道	観光ルート		緊急輸送路																																												
					(20)	(20)							(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)	(60)	(60)	(60)	(40)	(100)	(60)	箇所数を記入				(60)		(60)	(40)	(0)	(60)	(60)	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(10)	(100)	A	A	A	I																								
神埼		主	佐賀川久保島橋線	神埼市～吉野ヶ里町	神埼町尾崎～石動	47	47	公共	H23	2,000	6.5	13,000	切削付パ～レ工	20	20	20	20	20	20	20	100	2.6	60	60	17,785	40	100	60	20	1				1										60	40	40	60			20			20			20	10		10	10	90	A	A	A	I											
神埼		主	三瀬神埼線	神埼市	経路未確定～神埼駅前	46	46	公共	H23	2,000	6.5	13,000	切削付パ～レ工	20	20	20		20			80	3.3	30	30	4,943	30	60	60	20	1	1					1																	60	60			20			20	10	10	10	90	A	B	A	I								
伊万里		国	204号	伊万里市	山代	19	19	公共	H23	600	6.0	3,600	切削付パ～レ工	20	20		20				60	0.4	60	60	7,387	30	90	60	60									1															60	60			20			20		10	10	90	B	A	A	I								
伊万里		主	山本波多津線	伊万里市	波多津	73	28	公共	H25	1,000	6.0	6,000	路上再生舗装工	20	20	20	20	20			100	2.1	60	60	2,893	20	80	60	1																													60	40	0	40	60			20		20	10		10	90	A	A	A	I	
武雄		国	498号	武雄市	若木町～朝日町	52	52	公共	H23	450	6.5	2,925	舗装打換工	20	20	20	20				80	3.0	30	30	11,666	40	70	60	60																																60	60			30			30	10	10	10	100	A	B	A	I

